

作業計画書の作成方法 ～高所作業車～

 **OKUMURA CORPORATION**

2024年11月版

この動画では、高所作業車の作業計画書作成方法を説明いたします。

【作業計画書の様式について】

高所作業車使用時に作成する作業計画書は、以下の**赤文字の様式から選択**し作成してください。

作業計画書の様式	作成用途
移動式クレーン+車両系建設機械	
移動式クレーン	
移動式クレーン+ 高所作業車	※高所作業車に加え、移動式クレーンを使用する場合
車両系建設機械+車両系荷役運搬機械	
クレーン機能付きバックホウ+車両系荷役運搬機械	
クレーン機能付きバックホウ+ 高所作業車	※高所作業車に加え、クレーン機能付きバックホウを使用する場合
高所作業車	※高所作業車のみを使用
クレーン機能付きバックホウ	
コンクリートポンプ車	
ロープ作業	

当社の作業計画書の様式は、現在、10種類に分かれています。

このうち、高所作業車に関係する様式は3種類です。併用する機械の有無に応じて選択し、作業計画書を作成してください。

②

【作業計画書作成の流れ】

- ①左ページの必要事項の記入と作業計画図の作成（協力会社）

- ②工事所審査・工事所長承認（元請）

- ③右ページの工事所の計画指導事項を確認の上、受領（協力会社）

- ④コピーして、関係者に周知・サインの上、保管（協力会社）

【作成時に準備しておくもの】

- ・作業計画書記入用紙(紙、Excelデータ等)
 - ・高所作業車の性能が分かる資料(カタログ等)
 - ・作業場所の状況が分かる平面図(縮尺は1:100を基本)
- ※奥村組HP(協力会社の皆様へ)⇒安全に関するお知らせ
⇒[「安全書類」](#)からダウンロード可能

まず最初に作業計画書を作成するときの流れを説明します。

①協力会社のみなさんは、左ページに必要事項を記入、作業計画図を作成してください。完了したら、工事所職員に渡してください。

②工事所職員が内容を確認、審査のうえ、問題がなければ承認します。

③工事所から作業計画書が戻ってきたら、左ページ上部の欄に受領日を記入し、提出時に記入した安全衛生責任者の右横に押印またはサインしてください。

④作業計画書の内容は、関係者に周知し、サインのうえ保管してください。

作成する際には、次のものを準備してください。作業計画書の記入用紙。使用する高所作業車の性能が分かる資料。作業場所の状況、縮尺が分かる平面図が必要です。手元がない場合はご自身の会社もしくは工事所に問い合わせてください。

【作業名称等について】

作業計画書 高所作業車

作業名称	3階講堂、天井材等の取付作業		提出日	2024 年 5 月 17 日	
一次協力会社	大山建設 株式会社	安全衛生責任者	鈴木 四郎	承認計画書受領日 元請け承認後に記入	
③次協力会社	小川建設 株式会社	安全衛生責任者	村山 実		
作業年月日	2024 年 5 月 22 日 ~ 2024 年 6 月 21 日				
作業内容及び方法	講堂、天井材および天井設備取付作業				

同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。また、作業計画書は、作業場所、作業内容が変わる毎に作成してください。

作業名称などについて、項目に従って記入してください。

作業年月日の項目欄ですが、同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。また、作業計画書は、作業場所、作業内容が変わる毎に作成してください。

承認計画書受領日は、元請け承認後に記入してください。

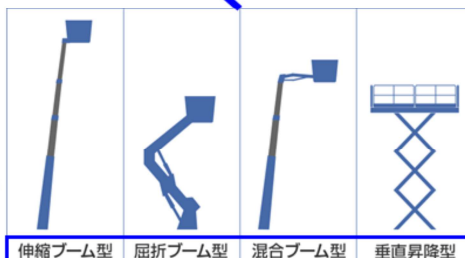
【高所作業車について】

高所作業車 ①	機種:	トラック	昇降装置	伸縮	最大積載荷重	320kg	最大作業床高	9.68m
	作業員の 配置及び 指揮系統	作業指揮者	会社名	氏名	資格要件	資格	作業場所 の広さ	広い
		運転者	小山建設	森田 一郎	10m未満	特別教育	路面状況	平地
		運転者	"	広島 三郎	10m以上	技能講習	立入禁止措置 の方法	カラーコーン
		誘導者/合図者	"	山口 太郎				



トラック式 ホイール式 クローラ式

3種類から選択のうえ記入してください



伸縮ブーム型 屈折ブーム型 混合ブーム型 垂直昇降型

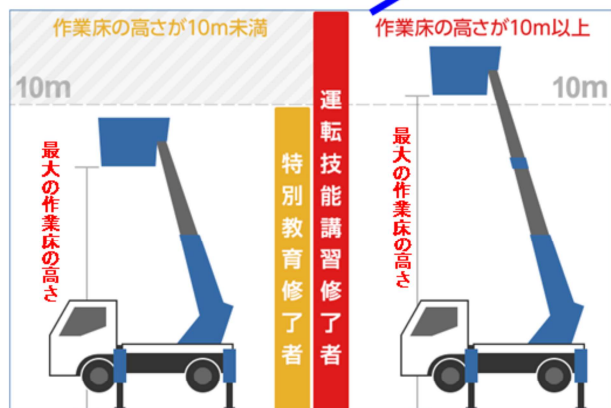
4種類から選択のうえ記入してください

高所作業車の性能や運転者などについて、項目に従って記入してください。

機種は、トラック式、ホイール式、クローラ式から選択のうえ、記入してください。

昇降装置は、伸縮、屈折、混合、垂直昇降から選択のうえ、記入してください。

高所作業車 ①	機種:	トラック	昇降装置	伸縮	最大積載荷重	320kg	最大作業床高	9.68m
	作業員の配置及び指揮系統		会社名	氏名	資格要件	資格	作業場所の広さ	広い
		作業指揮者	小山建設	森田 一郎		事業所による教育・講習等		
		運 転 者	"	広島 三郎	10m未満	特別教育	路面状況	平地
		運 転 者	"	山口 太郎	10m以上	技能講習	立入禁止措置の方法	カラーコーン
		誘導者/合図者	"	佐藤 四郎				

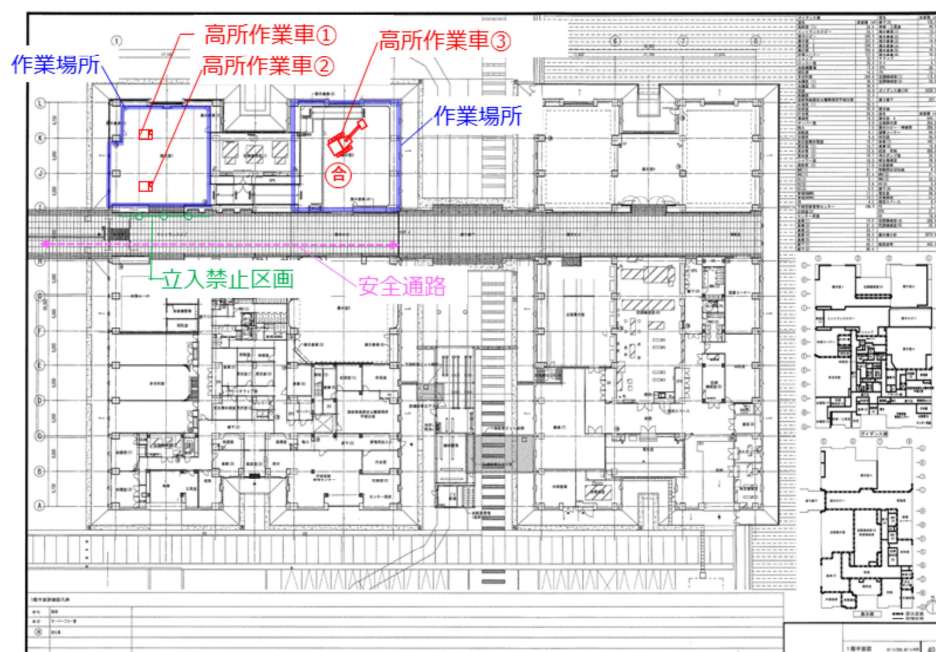
[illegible]

機械の最大作業床の高さが
10m未満の場合は『特別教育』
10m以上の場合は『技能講習』が必要です。

資格要件について、機械の最大作業床の高さが10メートル未満の場合は特別教育が必要です。

また、10メートル以上の場合は技能講習が必要となります。

【作業計画図について】



作業計画書 設備配置表	
設備名	位置
高所作業車①	1F 100-101
高所作業車②	1F 100-102
高所作業車③	1F 100-103
立入禁止区画	1F 100-104
安全通路	1F 100-105
誘導者等配置位置	1F 100-106
運行経路	1F 100-107
地盤の状態	1F 100-108
架空線	1F 100-109
埋設物位置	1F 100-110

【作業計画図には次のことを図示してください】

- 作業場所 機械設置位置
- 立入禁止区域 安全通路 誘導者等配置位置
- 運行経路 地盤の状態
- 架空線 埋設物位置 等

作業計画図の作成例です。

まず、作業場所の状況が分かる各種工事の施工計画図、総合仮設計画図などの縮尺が分かる平面図などを準備してください。

作業計画図には、作業場所、機械設置位置、カラーコーン・バー等でおこなう立入禁止区画、安全通路に加え、必要に応じて、誘導者等配置位置、運行経路、地盤の状態、架空線、埋設物位置、などを記入してください。

玉掛者：(玉) 監視人：(監)

監視人：Ⓢ

安全通路： ← - - - - - →

立入禁止区画： 

作業半径
15.0m

—10tポンプ車

10t生コン車

残土

90tクローラークレーン

0.7BH—

10tダンプ車

高所作業車

回付順序：
元 讀：

(資料の提供)

工事所審査・工事所長承認

協力会社

	T
--	---

工事所審査・工事所長承認

計画書作成

要領

コピーして本書は
工事所に返却してください

木堂

丁車所保管

→

周知(サイン)

→ 保管

コピーした作業計画書の内容を関係作業員に周知し、周知日と周知者を記録して保管してください。



作業計画書

作業年度: 2018 作業年度: 2018

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

作業内容: 新製品開発

作業場所: 本社

作業担当者: 田中 太郎

作業開始日: 2018.01.01 作業終了日: 2018.12.31

周知日	5/22	5/29	6/12
周知者 (サイン)	鈴木福亀宮栗佐太木広 村富岡下本藤田部島	久森高 保下木	木山穂 村崎藤 ● ● ●

計画内容を関係作業員に必ず周知してから作業を行ってください
作業員が交代した際も、必ず計画内容の周知を行い、記録を残してください

作成完了後、作業計画書をコピーしてください。本書は工事所に返却してください。

コピーした作業計画書の内容、右ページの指導事項等を確認して、作業を開始するまでに、必ず関係者に周知してください。

周知が完了したら、右ページ下の欄に周知日を記入し、周知対象者に必ずサインをもらうようにしてください。

作業員の方が交代した場合も、作業計画書の内容を都度周知し、周知した記録を残してください。



以上で説明を終わります。